

## 千代野小物語 NO.8

一かしこく やさしく たくましく 一



令和7年 9月2日

## ◆ 前期学校評価の結果をお知らせします ◆

7月にご協力いただきました学校評価アンケート（保護者・児童）の結果がまとまりましたので、ご報告します。学校評価を、今後の教育活動に活かしてまいります。

## ♪ 保護者アンケート ［%は、肯定的評価（Aよく当てはまる・Bやや当てはまる）です。】

質問項目	前期	後期
① お子さんは困っていることを、主体的に解決するようになった	72%	
② 学校公開等、各種お便り、HP等で学校の様子がよくわかる	82%	
③ お子さんは、学校は楽しいと思っている	89%	
④ お子さんは、授業は分かりやすいと思っている	85%	
⑤ お子さんはきちんと家庭学習をする習慣が身についている	72%	
⑥ お子さんの考えを認め、受け入れている	91%	
⑦ お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	93%	
⑧ お子さんはきちんと挨拶をしている	78%	
⑨ お子さんの話を聞き褒めて、励ましている	90%	
⑩ お子さんは早寝・早起きを心がけ、9時間以上の睡眠をとるようにしている	67%	

自由記述でいただきましたご意見やご質問について、うれしい言葉をたくさんいただきありがとうございました。主なご意見を載せました。また、改善すべき点につきましては、今後取り組みを考え早急に対応していきます。

## 保護者アンケートの自由記述一部抜粋

- ・学校が楽しいと、毎日元気よく登校している姿を見ることができ、安心しています。家で学校での話を聞くと、新しいお友達の名前を聞くこともでき、かかわりも増えてきていることも親として嬉しい限りです。
- ・先生に褒められる事は何よりも力になり自信に繋がっています。つまづいた時は話を聞いて欲しいです。
- ・家ではあまりごはんを食べない子ですが、学校の給食は美味しいときちんと食べているようです。とても感謝しております。
- ・水泳の授業を見守る学校関係の人が担任だけだと、生徒にトラブルがあった時など対応に回ってしまったら監視が手薄だなと思いました。

## 教育現場での性犯罪について

昨今、教育現場での盗撮や不適切な写真・動画の拡散が報道等で問題となっております。

本校では、定期的に複数の職員による点検を行い、不審なカメラ等が設置されていないことを確認しております。併せて、職員に対し学校内での私物スマートフォンによる写真・動画撮影を禁止しております。授業や学校行事での撮影が必要な場合は、学校が用意した機器にて対応しております。

♪ 児童アンケート ［%は、肯定的評価（Aよく当てはまる・Bやや当てはまる）です。】

質問項目	前期	後期
① 何事にもすすんで取り組んだり、チャレンジしたりするようになった	86%	
② 学校は楽しい	90%	
③ 授業は分かりやすい	92%	
④ 課題にむかって自分で考えたり、調べたりしている	84%	
⑤ 学年できめられた時間、家で勉強している	75%	
⑥ 相手の気持ちを考えて行動している	87%	
⑦ いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	86%	
⑧ 相手に伝わる挨拶ができている	87%	
⑨ 委員会やたてわり活動活動、係活動など自分から進んで取り組んでいる	89%	
⑩ 早寝・早起きを心がけ、9時間以上のすいみんをとっている	74%	

♪ 教職員アンケート ［%は、肯定的評価（Aよく当てはまる・Bやや当てはまる）です。】

質問項目	前期	後期
① 主体的に課題を解決しようとする姿が見られるようになった	96%	
② 子どものことについて保護者と相談しあえるよい関係ができている	100%	
③ 子どもたちは、学校で楽しく過ごしている	100%	
④ 多忙化改善に向けて学校行事の見直しやシステム改善を行っている	96%	
⑤ ねらいを明確にし、子ども一人一人が「わかった、できた」を実感できる授業を行っている	100%	
⑥ 子どもが課題を見つけるための手立ての工夫をした授業を行っている	100%	
⑦ 子どもたちは家庭学習に粘り強く取り組んでいる	96%	
⑧ 子どもの考えを認め、受け入れている	100%	
⑨ 子どもたちは、いじめられたり無視されることなく安心して過ごせるよう指導している	100%	
⑩ 進んで挨拶をし、よりよい関係を築こうとする児童に育っている	100%	
⑪ 子どもが主体的に取り組めるように褒めて、励ましている	100%	
⑫ 早寝・早起きや睡眠時間を確保するための指導をしている	92%	

**アンケート結果より後期の改善策**

本校は「主体的に課題を解決しようとする子」を重点教育目標とし、学習では「課題を見つけ学び続ける子」、生活では「自己肯定感を高め、ありがとうが言える子」、特別活動では「主体的に活動する子」を育てるこことをめざしています。

しかし、今回の学校評価アンケートでは、児童・保護者ともに十分な実感が得られていないことが分かりました。取組が目標とどう結びついているかが伝わりにくいことが一因と考えられます。

改善策として、授業で自分が見つけた課題や考えを他者と共有する、日常生活の小さな成長を児童・保護者にフィードバックする、特別活動に児童の意見を取り入れ、主体的に関わったことを実感できる場を増やすなどを実践していきます。

児童自身が主体性を実感できる場面を増やし、その姿を積極的に発信することで、目標の達成と評価の向上につなげていきたいと考えます。